

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

院内トリアージ適正化に向けての現状調査

【目的】

院内トリアージにおいて、疼痛の補足因子で緊急となっている患者の現状を明らかにし、トリアージの適正化を図ることでより緊急患者に対応できることを目的とします。

【対象】

2016年9月～2017年3月までに当院救急外来へウォークインで受診された15歳以上の患者さんで、トリアージレベルが緊急以上に判定された方

【方法】

院内で使用したトリアージシートより研究者が情報を収集し、研究者が作成したデータベースに入力し集計します。集計結果は当院内で管理・保管され、日本救急医学会関東地方会で公表されません。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

トリアージシート（年齢、性別、主訴、第一印象、バイタルサイン、トリアージレベル、トリアージ判定理由、トリアージ判定コード、病名、転帰、来院受付時間、トリアージ終了時間、診察開始時間 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2018年3月31日まで

【研究組織】

研究責任者：横浜市立市民病院 看護部 救急 HCU 登内 裕子
横浜市立市民病院 救命救急センター内で実施

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56
電話 045-331-1961（病院代表） 救命 HCU 看護師 登内 裕子

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。